

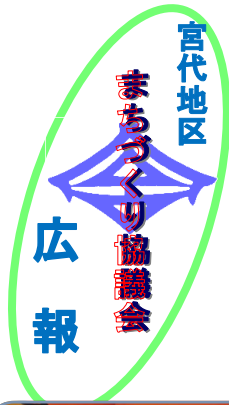
宮代地区まち協通信

第115

発行日

令和 5年7月1日

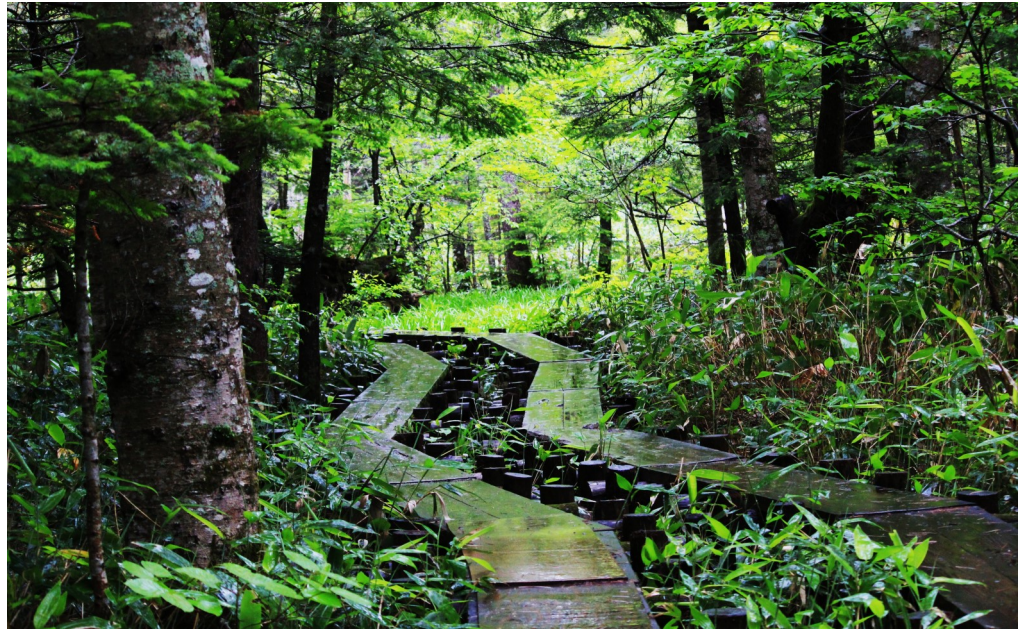
2023年



南宮大社の“卵”

上高地遊歩道

撮影 福本 莞さん



「生きた言葉の文芸」

中山社北野俳句会 川瀬 慶泉

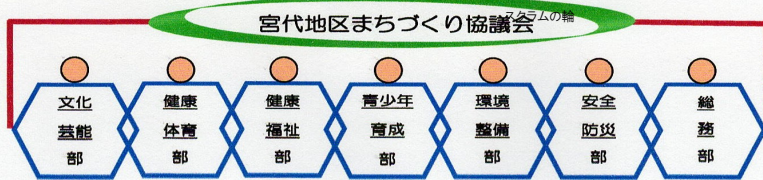
動物の中で人間程巧みに音声を使うものはありません。音声は「言葉」として人と人をつなぐ大切なツールとして発展し、長い歴史を経て芸術・文芸として華を咲かせました。俳句とはわずか17音という限定の中で、自分の眼にうつった瞬間や、心に湧き上がった想いを切り取って表現する文芸です。それは生きた言葉を使わなければ、読む人の心は動かないし、詠んだ本人の感動も表現できません。人間は言葉を使って生きる存在です。言葉を使って他者とつながり、歴史を認識するのです。俳句は人間の営みを具体的に輝かす芸術であります。

中山社北野俳句会では毎月句会を開いて、会員の想いを言葉にした句を持ち寄ります。時には言葉を直してもらい、さらにその句の輝きが増すこともあります。それこそ句会の醍醐味です。俳句は決して難しいものではありません。今あなたが使っている言葉を、もっと丁寧に大切に紡いでいくと、自ずと見えてくる17音の広い世界です。一緒に俳句してみませんか。



目次

- 「生きた言葉の文芸」
- 行事予定（7月度）
- 七夕の由来・歴史
- 活動報告
＜5月・6月の活動＞
- 文芸の広場
中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水彩を楽しむ会	1日・15日 9:00~11:30	土	まちセン 小会議室	会員募集中
2	TS琴好会「大正琴教室」	6日・20日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	会員募集中
3	水墨画教室	7日・21日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
4	絵手紙教室	9日・23日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
5	池坊生け花クラブ	10日・24日 13:00~15:00	月	まちセン 大会議室	会員募集中
6	「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」作業部会	12日・26日 9:00~11:00	水	まちセン 実習室	
7	音（おと）楽（らく）倶楽部	13日・27日 10:00~12:00 12日・26日 18:30~21:00	木 水	まちセン 大会議室	水曜日のみ会員募集中
8	宮代防災会「避難所開設の研修会」	14日 9:00~11:00	金	まちセン 大会議室	
9	伝統文化「こどもお花教室」	15日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	
10	いきいきふれあいサロン	22日 9:30~12:00	土	まちセン 大会議室	

七夕の由来・歴史

七夕は、古くから行われている日本のお祭り行事で、仙台の七夕飾りや、近隣では尾張一宮も有名で、一年間の重要な節句をあらわす五節句の一つに数えられています。

ちなみに、五節句とは、「1月7日 人日」・「3月3日 上巳」・「5月5日 端午」
「7月7日 七夕」・「9月9日 重陽」

皆さんも子どもの頃願い事を書いた、色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをしたことがあると思います。

では、七夕はいつから、どのように始まったかご存じですか。

- ① もともと日本の神事であった「棚機」（たなばた）
- ② おりひめとひこぼしの伝説
- ③ 奈良時代に中国から伝来した「乞巧奠」（きこうでん）

という行事があわさったものとされています。

江戸時代になり、七夕行事が、五節句のひとつになると、七夕はそれまでは宮廷と武家に限られていたものですが、庶民の間にも広まり、全国的に行われるようになりました。

人々は野菜や果物を供えて、詩歌や習い事の上達を願い、梶の葉にかわり五色の短冊にいろいろな願いを書いて笹竹につるし、星に祈るお祭りにかわっていきました。

7月7日の七夕の夜、「おりひめ」と「ひこぼし」は再開の願いを叶えることができたとの伝説から、人々は「二人のように願い事が叶いますように」と短冊に自分の願いを書いて笹に飾るようになり、今の七夕の形になりました。





専門部・部長の挨拶

健康福祉部

部長 藪本 孝義



いつも「ふれあいサロン」にご協力、ご参加下さいまして誠にありがとうございます。

令和5年度も、安全・安心を心掛け、また、コロナ対策に充分気を付け、年間5回の「ふれあいサロン」の開催を計画しております。「今日は楽しかった」「参加して良かった」「皆さんとお話できた」といってもらえるよう、いろいろな企画をして行きたいと思っています。ご近所お誘いあわせてお出かけ下さいお待ちしております。また、ちょっとした困りごとがありましたらお電話下さい。ごみ出し・草取り・話し相手など。

<宮代ちょっとサポート>

090-5620-1876

健康体育部

部長 子安 正樹



<戻りつつ日常>

体育推進委員会の委員長と

なり8年が経ちました。

新型コロナウイルス感染症のため、

体育推進委員会の活動が3年ほど停滞してしまいました。

今年度は、8月11日早朝より南宮登山大会を行いますので、元気な方ならどなたでも参加お待ちしております。

10月には、ふれあいスポーツ宮代2023、11月にはさわやかスポーツ大会を行う予定です。

皆様が参加しやすい競技や、軽スポーツなどを提案し、運動不足の方、ストレスを発散したい方はいい汗を流しに気軽にご参加下さい。

まだまだ油断はできませんが、充分な感染対策をしながら、行事を開催したいと思っていますので、今後とも皆様のご協力お願い致します。

5月22日「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」の総会が、早野垂井町長・澤島垂井観光協会会長のご臨席を頂き開催されました。令和4年度の事業報告・収支決算報告と令和5年度の事業計画・収支予算が審議されました総会に続き、南宮大社権禰宜 荒井様に「宮代の神々について」の表題にて特別講話をして頂きました。



6月4日 体育推進委員会総会が開催されました。垂井町の委嘱状が交付され、令和5年度の事業計画、8月の南宮登山大会、10月のふれあいスポーツ2023、11月のさわやかスポーツ宮代2023について説明があり、会計予算についても審議されました。最後に各地区の役員が選出されました。



6月11日 青少年育成推進委員会総会が開催されました。垂井町の委嘱状が交付され、新しい役員への紹介に続き、令和5年度の事業計画・推進事業・収支予算について審議し承認されました。12月に開催予定の「青少年の健全育成を語る会」のテーマについても検討されました。



6月15日 「千之子ども自然観察教室」が開催されました。朝倉公園西側のビオトープで岐阜県の天然記念物に指定されている「モリアオガエルの卵」を探し、講師から生態などを聞き、たくさん質問をして、貴重な体験ができました。



*田植機の 音響かせて 田に一人
大羽 志風

*田蛙の 水を境に 鳴き出せり
三和 光子



*梅雨寒や 詠まねばならぬ 晨朝課 (じんちょうか)
傍島 法苑



*空おもく 呼び込む声は 雨蛙
石垣 珠泉

宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その七 宇都宮秀宗・貞秀親子

秀宗は正応5年(1292年)4月7日に、不破郡宮代村で父 南宮神社社司 宇都宮秀行・母 宇都宮尾張守藤綱の女(むすめ)の子として生まれる。

南北朝騒乱時に、秀宗は直ちに後醍醐天皇の御陣に加わり、叡山にも供奉し、軍功ありて、従五位下越後守を授けられる。

尊良親王が新田義貞に奉じられて北国に赴いたときも供奉して歴戦するも、遂に延元2年(1337年)3月越前釜ヶ崎城の戦いにて戦死する。

貞秀は宇都宮秀宗の子で、正和2年(1313年)11月29日に不破郡宮代村に生まれ、父の跡を継ぎ吉野朝に属し、度々戦功をあげるも、延文3年(1358年)3月同族刑部少輔隆房と共に九州に下り、懐良(かねよし)親王の軍に加わり肥後に於いて度々軍功をあげるも、同(延文)5年(1360年)9月25日筑後の戦いにて共に戦死する。

(参考文献) 不破郡史より

<編集後記> ★筋肉量について

「階段の上り下りがおっくうに」「散歩のスピードが遅くなった」と感じ始めたらそれは筋肉量が不足し始めたのかもしれませんが。誰でも年齢とともに筋肉量は減っていくもの。しかし、諦める必要はありません。筋肉は何歳になってもまた増やすことが可能です。適度な運動をこつこつ続け、筋肉に必要な栄養を補給して、自分のことは自分で出来る「健康的自立生活」を目指して、何歳になっても筋肉作りに取り組んで行きましょう。

7月・8月の休館日(予定)

7月 4日(火)・11日(火)
18日(火)・25日(火)
8月 1日(火)・8日(火)
14日(月)・15日(火)
22日(火)・29日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代まちづくりセンター西方の景色

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい